

愛知県におけるがん登録オンラインシステム導入状況、遡り調査の回答形式について

羽佐田 香代¹⁾²⁾, 大島 栄子¹⁾, 古橋 由紀子¹⁾, 平岩 愛¹⁾, 板生 春美¹⁾, 神原 あかり¹⁾, 春日井 京子¹⁾, 尾瀬 功³⁾, 伊藤 秀美¹⁾²⁾

愛知県健康対策課がん登録室¹⁾,
愛知県がんセンター研究所がん情報・対策研究分野²⁾,
愛知県がんセンター研究所がん予防研究分野³⁾

1. 背景と目的

全国がん登録では 2017 年よりがん登録オンラインシステム（以下、GTOL）が利用開始となった。一方、愛知県では全国がん登録が開始される前の 2013 年 6 月より安全に届出ができるよう「あいち電子申請・届出システム」を利用している。将来的には GTOL への一本化を目指しているが、既存の届出システムの利便性から GTOL による届出への移行が進んでいない。

そこで、GTOL 導入と GTOL による遡り調査の実態把握と促進のため、アンケート調査を実施した。その集計結果を報告する。

2. 方法

2022 年の遡り調査対象となる愛知県の医療機関（施設）205 施設に対し、調査票送付時にアンケートを同封し回答を依頼した。内容は、1.GTOL 導入の有無、2.導入済みの施設には、来年の遡り調査方法、3.未導入の施設には導入予定、そのうち導入予定なしの施設へはその理由（複数回答可）、とした。解析対象は、全国がん登録届出実績のある 138 施設（67.3%）とした。

3. 結果

解析対象における遡り調査回答率は 97.1%、アンケート回収率は 87.7%であった。

GTOL 導入済と答えた施設は 76 施設（55.1%）で、未導入と答えた施設は 45 施設（32.6%）であった（図 1 上段）。GTOL 未導入と答えた 45 施設のうち 33 施設は今後の導入予定はなく、その理由はハードウェア環境 36.4%、セキュリティ管理 33.3%の順で多かった（図 1 中段・右下）。

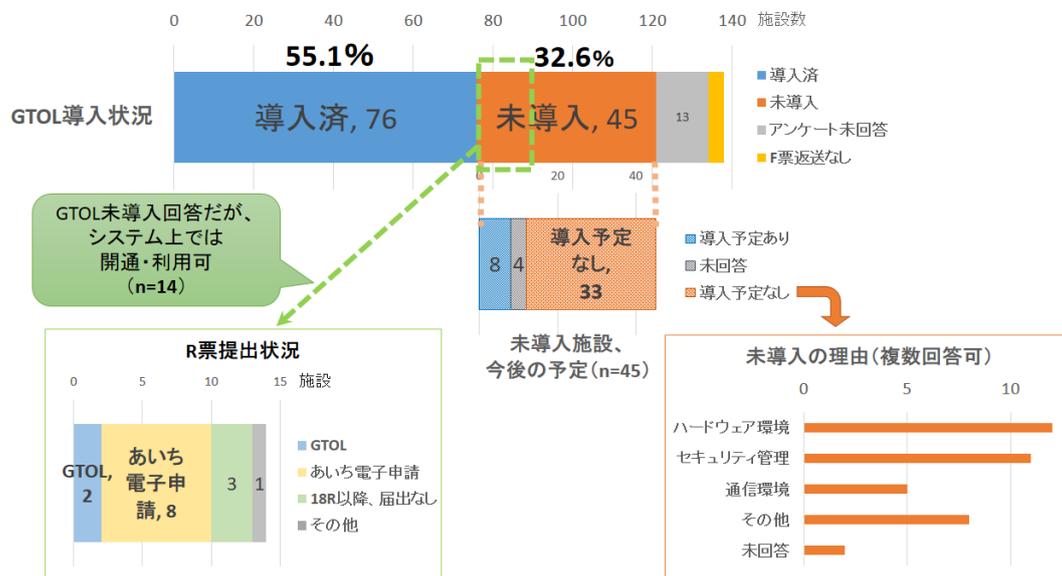


図 1 GTOL 導入の有無

また、遡り調査実施時に全国がん登録システム上で確認できる開通状況の比較をしたところ、アンケートで GTOL 未導入と回答した 45 施設のうち 14 施設が実際には GTOL 開通済みであった。そのうち 8 施設の届出票（R 票）はあいち電子申請届出システムから提出されており、GTOL を導入しているものの

使用されていない状況であった（図 1 左下）。

次に、遡り調査票（F 票）の提出方法についての結果を示す（図 2）。提出に GTOL を利用した施設は 23 施設で、全体の 16.7%にとどまった。来年の F 票の提出に GTOL の利用を希望する施設は 23 施設であり、GTOL を利用して提出したがアンケート未回

答の6施設は来年もGTOL利用を継続すると捉えると、来年は、F票の提出にGTOLを利用する施設は29施設（約21.0%）になると予測された。

GTOL導入済みと回答した76施設中、F票の提出にGTOLを利用した施設は15施設（9.7%）にとどまった。来年、紙媒体であるOCR票の提出からGTOLによる提出へ変更を予定している施設が9施設（11.8%）あり、GTOL利用継続予定の14施設

（18.4%）と合わせると、23施設（30.3%）からGTOLによる提出が見込まれる。

また、GTOL導入済であるが、OCR票としてF票を提出した61施設についてR票の提出状況を確認したところ、43施設（70.5%）はGTOL経由で、12施設（19.6%）はあいち電子申請届出システム経由で提出されていた。

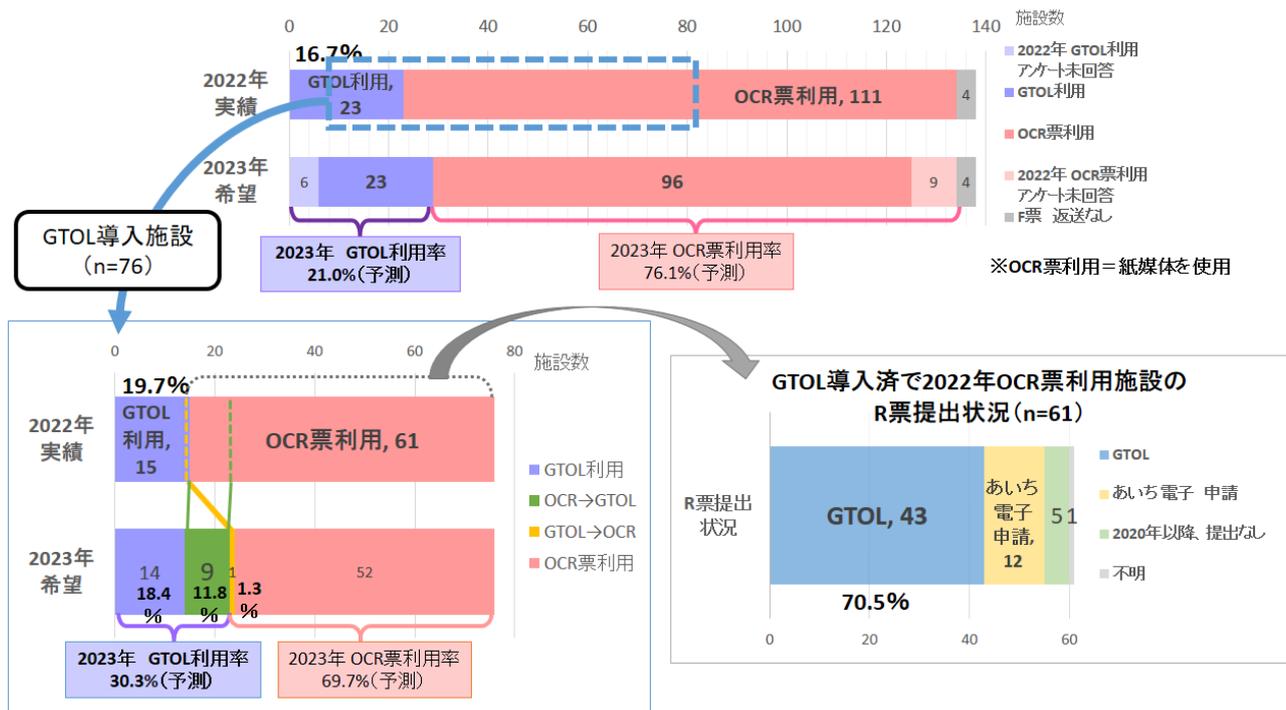


図2 廻り調査回答 提出方法

4. まとめと考察

届出実績のある廻り調査対象施設のGTOL導入率は5割強であり、導入が進んでいるとは言えない状況であった。導入が進まない理由は、接続環境が整わない施設が多いことと、愛知県は「あいち電子申請・届出システム」での届出が可能だがGTOL導入停滞の一因と推察された。

GTOLによる廻り調査実施率では、GTOL導入施設であっても圧倒的にOCR票の提出が多く、GTOL利用率は2割以下と明らかに低かった。また、R票はGTOLを利用して提出していても、OCR票を提出する施設が多く、その理由としてOCR票による回答が容易なことがと考えられた。しかし、OCR票での提出では①エラーチェック機能がないこと、②シ

ステムへの読み込みエラーの対処など手間がかかりミスを誘発しやすいなど、デメリットが多いためGTOL利用を利用したF票の提出が望まれる。

5. 結論

廻り調査時に、GTOL導入状況や来年に希望する廻り調査方法についてアンケート調査を実施したところ、届出実績のある廻り調査対象施設のGTOL導入率、GTOL導入しているがGTOLによる廻り調査の実施率が明らかに低いことがわかった。今年のGTOL更改を機に、研修会などを通じてGTOLの利便性を伝え、各医療機関へGTOL導入・廻り調査のGTOL利用を呼びかけていく予定である。